

企画展のご案内



岐阜県美術館では、このたび「アートまるケット」を開催します。2015年度からはじまった日比野克彦館長ディレクションによる「アートまるケット」。岐阜をアートまみれにして美を楽しむ本プロジェクト10回目は、新プロジェクト「つなぐ人 日比野克彦」が本格始動します。南仏のフォンフロワ修道院でオディロン・ルドンが描いた世界を岐阜県美術館へとつなぐVRプロジェクトがはじまります。

展覧会名	「清流の国ぎふ」文化祭2024 アートまるケット「つなぐ人 日比野克彦」
会場	岐阜県美術館 展示室3(岐阜市宇佐 4-1-22)
会期	令和6年9月27日(金)ー令和6年12月8日(日) 午前10時ー午後6時 ※休館日:毎週月曜日(祝・休日の場合は翌平日) ※夜間開館:令和6年10月18日(金)、11月15日(金)は午後8時まで ※展示室の入場は閉館の30分前まで
料金	観覧無料
主催	岐阜県美術館

本資料に関するお問い合わせ



〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1313(代表) FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>

広報担当:後藤正行
担当学芸員:廣江泰孝
松岡未紗



県美術館
Webサイト

美術館の情報を発信しています



Facebook



Instagram



X

E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

本プロジェクトについて

「アートまるケット」は岐阜の言葉で「まみれる」を意味する「まるけ」と「マーケット」に「アート」を結び付け、「アートまみれ」にしようとする企画です。

2015年度より3年間は展示室から庭園へ、次に美術館を飛び出し公園へ、人が自由に集まる場所で魅力を発信しました。2019年度は県内リサーチを試みるもコロナ禍のためオンライン企画へシフトし、現在も配信し続けています。(おうちに居ながら美術館) 2022年度は「知る」をテーマに2組のアーティストを迎え、展示室と庭園を使いリアルへとリスタートするためのプロジェクトを行いました。作家のまなざしを通して現わされた「岐阜のかたち」は鑑賞者の好奇心をくすぐりました。2023年度は「展覧会の準備をしています、展。」を開催しました。調査の様子、燻蒸や装丁など普段は見ることのできない工程を多くの方に見ていただきました。2024年度はいよいよ新プロジェクト「つなぐ人 日比野克彦」が始まります。

展覧会の見どころ

ルドンが晩年に南仏のフォンフロワド修道院図書室のために制作した大作《昼》と《夜》の世界を、アーティストで岐阜県美術館長の日比野克彦が岐阜県美術館につなぎます。会期中にはルドンの絵画世界から日比野克彦が感じたイメージをライブペインティングによって鑑賞者に伝えます。



■ 同時開催

◆PARALLEL MODE:山本芳翠 -多彩なるヴィジュアル・イメージ-
2024年9月27日(金)- 12月8日(日)

◆PARALLEL MODE:オディロン・ルドン -光の夢、影の輝き-
2024年9月27日(金)- 12月8日(日)

